

小型ながら……

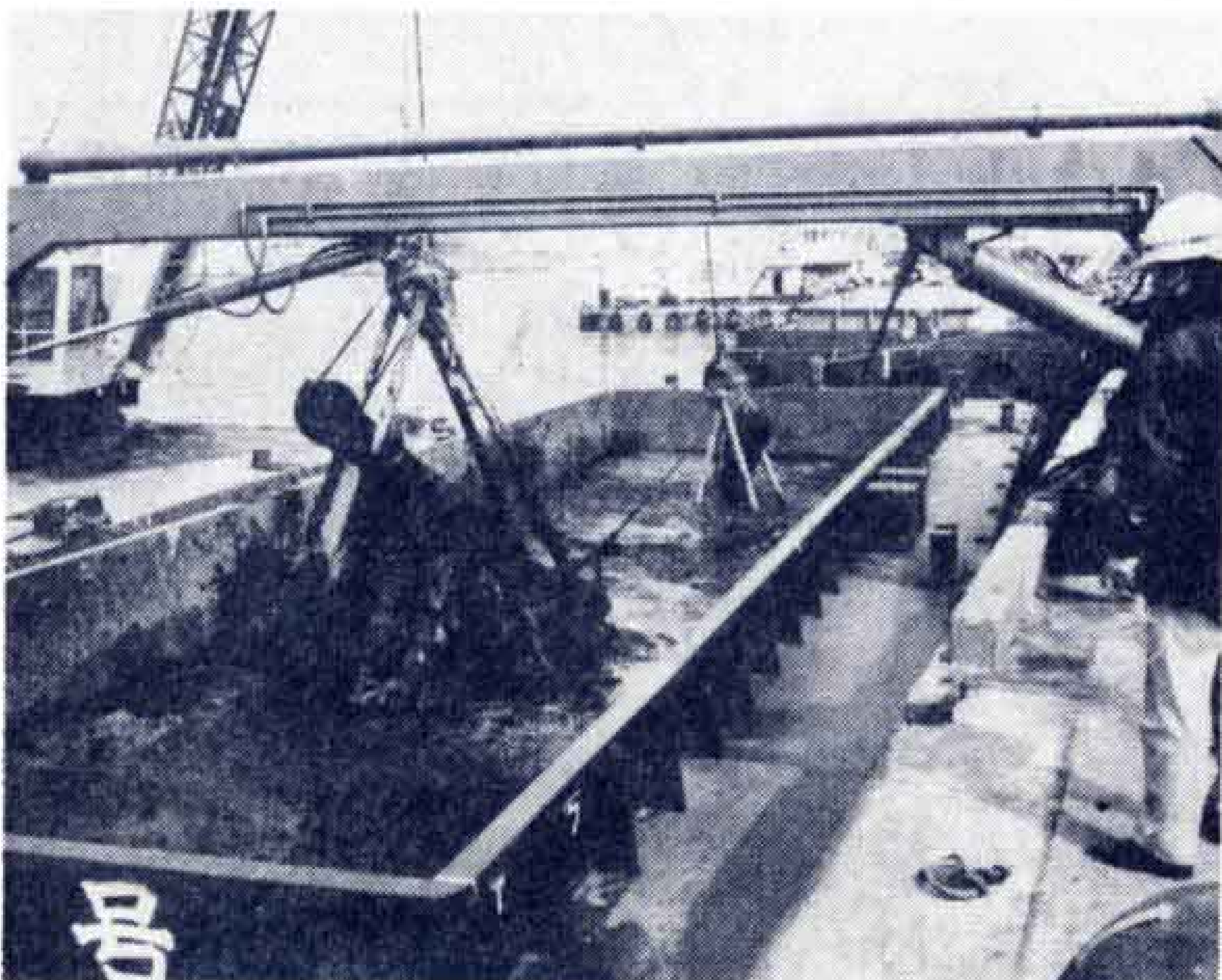
もしも、いま、大地震が起ったら…。火災が発生しても消防車が通り抜ける通路もありません。そのとき役立つのが狭い露路でも、また一人でも手軽に持ち運びできる軽可搬式消防ポンプ。市ではこんど25基を購入して全市へ配置することになり、3月9日、小潤井川の土手で性能テストのあと渡辺市長から各分団に引渡されました。



【性能テストのあと各分団へ…】

ヘドロ処理はじまる

田子の浦港にたまったヘドロを取り除く第4次ヘドロ処理作業が、3月16日からはじまりました。田子の浦港には現在、およそ52万トンのヘドロがたまっているものと推定されており、今回は、このうち15万トンを年内いっぱい引き上げ、セメントなどを混ぜ合わせて粘土状にしたものを港の北側にある水面貯木場へ埋め立てるもので、海底を汚さないよう汚濁防止幕を海中に張って作業が進められています。



【はじまったヘドロ処理作業】

ワラワラふじ

すくすく育て……

こどもの誕生祝に、わが家の庭に市民の推奨花サザンカの苗を植えましょう……と、市が3年前から行っている苗木の無料配布が、ことしも行われました。ことし対象となった赤ちゃんは市内で3594人、赤ちゃんとともにすくすく成長するサザンカがこれから楽しみです。



【サザンカも大切に育てて…】

“消費者の祭典”

市と消費者運動連絡会主催の「くらしの中の消費者展」が3月5日と6日の両日、吉原市民会館で開催されました。日常生活の中で資源を考え、価格を考え、暮らしを考えようとたくさんの展示品が並べられ、食品テストコーナーも人気を集めました。このほか、手作り食品の実演や、青果、鮮魚の即売など台所をあずかるおおぜいの主婦でにぎわいました。



【にぎわった展示会場】